



詳しくはコチラ

大地震発生に備えた
具体的な対応を

Q 大地震発生時、水洗トイレが使えない状況が想定される。そのため、簡易トイレは必要な備蓄品であるが準備されていない。簡易トイレなどの非常備蓄品を各家庭で準備することが必要ではないか。

A 防災訓練などの機会に、簡易トイレを備蓄品の一つとして周知していく。また、防災意識を高めるため、地域で行われる行事の中に防災のエッセンスを取り入れることを提案していきたい。

Q 災害発生時に安否不明者の氏名を公表することにより、救助の迅速化が図られる。人的被害を少なくするためにも、安否不明者の氏名を速やかに公表する必要がある。災害はいつ起こるか分からない。現時点で、家族の同意がなくても公表する方針をとる方がいいのではないか。

A 災害発生時の安否不明者の氏名等の公表は、現在策定中の国の指針、県のガイドラインの改定に合わせて対応していく。ただし、緊急かつやむを得ない場合は公表できるので、必要なときは総合的に判断し、県と連携して対応していく。